



平成 21 年 1 月 8 日

各 位

東京都中央区日本橋兜町 1 番 10 号  
平 和 不 動 産 株 式 会 社  
代表取締役社長 金 原 策 太 郎  
(コード番号 8803) 東京・大阪・名古屋市場第一部、福岡・札幌  
問 合 せ 先 財 務 部 長 山 田 和 雄  
T E L 0 3 - 3 6 6 6 - 0 1 8 1

### 投資有価証券評価損計上に関するお知らせ

当社は、「その他有価証券」に区分される保有投資有価証券のうち、時価あるいは実質価額が著しく下落したものについて、平成 21 年 3 月期第 3 四半期末において減損処理による投資有価証券評価損を特別損失として計上する必要が生じたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損の総額

(連結)

(A)平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損の総額	2,875 百万円	
(B)平成 20 年 3 月期の純資産の額 (A/B×100)	70,456 百万円	(4.08%)
(C)平成 20 年 3 月期の経常利益額 (A/C×100)	7,176 百万円	(40.06%)
(D)平成 20 年 3 月期の当期純利益額 (A/D×100)	3,737 百万円	(76.93%)

(個別)

(A)平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損の総額	2,781 百万円	
(B)平成 20 年 3 月期の純資産の額 (A/B×100)	67,137 百万円	(4.14%)
(C)平成 20 年 3 月期の経常利益額 (A/C×100)	6,854 百万円	(40.58%)
(D)平成 20 年 3 月期の当期純利益額 (A/D×100)	3,691 百万円	(75.34%)

※ 当社の第 3 四半期末は 12 月 31 日であります。  
平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 20 年 4 月 1 日から平成 20 年 9 月 30 日)に特別損失として計上した投資有価証券評価損は 1,399 百万円であります。  
投資有価証券の減損処理については、四半期洗替え法を適用しております。

#### 2. 今後の見通し

上記の投資有価証券評価損は、平成 21 年 3 月期第 3 四半期において特別損失として計上する予定であります。  
なお、平成 21 年 3 月期通期の業績見通しにつきましては精査の上、公表させていただく予定であります。

以 上